

◆令和4年度 コミュニティー・スクール(学校運営協議会)が行われました。

去る10月31日(月)15:00より、第1回学校運営協議会を開催いたしました。お忙しい中、委員の皆様にもお集まりいただきました。議事は、次のとおりでした。

- 《議事》第1回学校運営協議会
(1) 委員長選出、副委員長選出
(2) 令和4年度学校経営方針
(3) 意見交流
【地域と協働した教育活動の充実】



昨年度まで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面での開催でしたが、今年度初めて集合形式での開催をすることができました。また、本協議会の基本方針を確認し、この方針のもと意見の交流を行いました。

参加された委員の皆様と「地域と協働した教育活動の充実」をテーマに多くの意見をニグループに分かれて交流しました。

交流された意見の中には、南幌町のオンデマンド交通「あいるーと」の活用方法や、プールの利用、社会福祉協議会の協力を受けサークル、ボランティアから人材の協力をいただくなど、具体的な意見を交流することができました。

《北海道南幌養護学校学校運営協議会 基本方針》

- (1) 学校運営協議会による意見や支援を受け、地域に根ざした教育活動の充実を図る
(2) 地域の教育資源や人材を積極的に活用し、地域社会で児童生徒の生きる力の育成を図る。
(3) 学校と地域が一体となって特色ある学校づくりや開かれた学校づくりの推進を進める。

◆第2回 開催に向けて

今回、交流した意見も参考に、令和5年度に向けて、地域の力をいただきながら進められる学習活動について、検討を進められるとより充実した教育活動につながると委員の方々からも今後の展開についてご意見をいただきました。このことを参考に令和5年度に向けて連携させていただきたい活動等について検討を進めていきます。



令和4年度 学校運営協議会委員のご紹介

安井 友康	北海道教育大学札幌校・教授
向島 久博	社会福祉法人ホホエム・総合施設長
佐藤 純子	南幌町民生委員主任児童委員
一瀬 由利江	北海道南幌養護学校PTA会長
鈴木 潤也	南幌町教育委員会生涯学習課長
笠原 大介	南幌町総務課長
佐藤 由美子	南幌町役場保健福祉課長
柿崎 納	南幌町商工会事務局長
町田 美穂子	北海道南幌養護学校長

◆第2回 コミュニティー・スクール(学校運営協議会)を開催しました◆

《議事》第2回学校運営協議会

- (1) 令和5年度グランドデザインの方向性
- (2) 地域と協働した教育活動の取り組みについて
- (3) 令和5年度学校運営協議会について

(1) 令和5年度グランドデザインの方向性

次年度のグランドデザイン案として、学校教育目標を「一人一人が力と個性を發揮し、社会で豊かに生活する力を育む」として、地域での社会参加を実現し、充実した生活を送るために必要となる資質・能力を育む教育を推進することについて校長より説明しました。

目指す学校像として、「人権を尊重し、児童生徒がいきいきと学び育ち会う学校」。目指す教職員像として、「高い人権意識を持ち教育実践する教職員」の他3項目を設定し、各内容について提案しました。

参加した委員の皆様と、方向性について共有し、承諾をいただきました。



(2) 地域と協働した教育活動の取り組みについて

事前に、校内各学部、寄宿舎から“地域資源を活用して取り組んでみたい学習活動”について意見を集約した内容をもとにして2つのチームに分かれて交流しました。

各グループから、地域の人材・資源活用については、“行いたい内容”“探している人材”を具体的にすることで、たとえば南幌町教育委員会や南幌町役場とおし、人材等のマッチングがよりすすめ易いというご意見や、昨今のコロナ禍により身近になったオンライン

チームA	チームB
安井 友康 様	一瀬 由利江 様
柿崎 納 様	佐藤 純子 様
町田 校長	向島 久博 様
本校職員	
河内	教頭(杉本)
中山	事務長(柴崎)
三田村	池田



を活用し、ZOOMを使用した地域との交流も一つの方策として考えられるとのことをお話をいただきました。

また、「地域社会を理解する、学習すること」は、地域とのつながり、役割、関係性を学習することができる。それは、卒業後の居住地に戻ってからの社会生活で、地域は、構成している様々な期間に、それぞれ役割があり、お互いに支え合って成り立っていることを実感できることにつながると考えられる。南幌町は、その学びを積み重ねる良い環境というご意見をいただきました。

(3) 令和5年度学校運営協議会について

令和5年度の学校運営協議会で、取り組みたいことについて次の2点をお諮りしました。

- 令和5年度の地域と協働した教育活動の取り組みの進捗・評価・改善について
- 南幌町と連携した危機管理にかかわる取り組みに向けた協議について

実際に、地域と協働した教育活動の展開について、評価、改善を進めたいこと、南幌町にある学校としての役割、町と連携をした危機管理の対応などを協議していきたいことについて、委員方々にご賛同をいただきました。